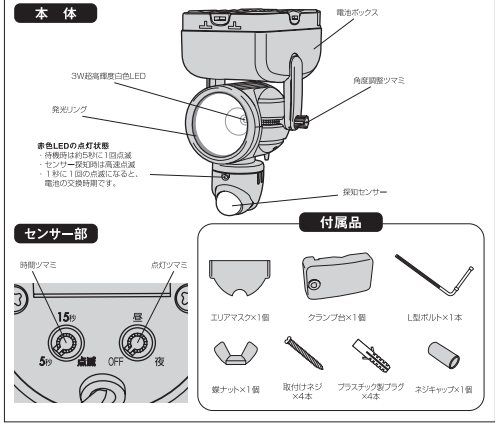


乾電池式 3W LED センサーライト 取扱説明書

この度は、RITEX 乾電池式 3W LED センサーライト LED-80 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

注意 気温・気圧等の気象条件の変化によりセンサーがまれに誤作動することがありますが、故障ではありません。時間をおいて再度ご確認ください。

1. 部位説明



2. 仕様

電球	超高輝度白色 3W LED (白熱電球30W相当の明るさ)
電圧	DC4.5V
消費電流	点灯時700mA
使用電池	単1アルカリ乾電池 3本 (別売)
電池寿命	1日15秒 (10回) …約300日、1日15秒 (20回) …150日
センサー探知方式	焦電型赤外線センサー
センサー探知範囲	水平 約140°・約6m (取付け高さ2.0m)
点灯切替スイッチ	5秒 / 15秒 / 点滅 (15秒)
サイズ (クランプ除く)	幅105mm×奥160mm×高141mm
重量 (クランプ除く)	430g
クランプ取付けサイズ	・厚み / 最小約15mm～最大約100mm ・パイプ径 / 最小約30mm～最大約85mm
設置場所	屋内・屋外用 (防雨タイプ)

3. 安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止するために、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。

- 表示内容が無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。(下記は給表示の一例です)
 - お守りいただく内容の種類を、次の給表示で区分し説明しています。(下記は給表示の一例です)
- 警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。
- 注意** 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。
- このような給表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。
- このような給表示は、してはいけない「禁止」内容です。
- このような給表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- 濡れた手で触らない**
接触禁止
濡れた手で本体に触れないでください。感電の恐れがあります。
- 電池を交換の際は**
濡れた手や、本体が濡れた状態での電池交換はしないで下さい。交換の際は、必ずスイッチをOFFにした状態で右取替えください。感電、故障の原因になります。

- 本体は大量の水がかかる場所に設置しない**
禁止
通常の雨、風には耐えますが、防水タイプではありません。※防雨構造はIP44電気機械器具の保護等級について許可を受けた規格です。故障の原因になります。
- 家電製品の近くで使わない**
禁止
テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。故障、誤動作の原因になります。

- 屋内・屋外に関係なく逆さまに取り付けない**
禁止
故障の原因になります。
- 分解や改造をしない**
分解禁止
修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。火災、感電、故障の原因になります。

- 天井付け・壁付けともに、センサー部が上向きに45°以上、下向きに80°以上ならないように**
禁止
故障の原因になります。
- 付属品を使用する**
必ず付属品で取付けをおこなってください。
落下、故障の原因になります。
- 引火性溶剤は使わない**
禁止
清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

注意

- ご使用や設置について**
 - 電圧を出す器具の近くに取付けない**
禁止
故障、誤動作の原因になります。
 - モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない**
禁止
故障の原因になります。
- ※本機は探知範囲内に侵入する物(人、車等)に対して、注意を促しますが、盗難犯罪が発生しても一切の責任は負いません。
※製品改良のため、仕様及び外観は、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

4. センサーの探知範囲

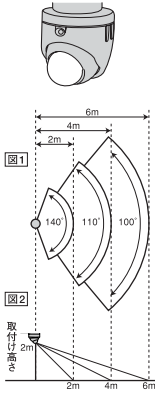
- センサーは、最長約6m×140°の範囲で動く人や車を探知します。
- ※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。
- ※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。
- ・取付け高さが2mの場合の探知範囲です。
- ・取付け高さは最高3mまでです。
- ・取付け高さを1mにすると探知範囲は、図の半分になります。

エリアマスクの取付け

エリアマスクの取付け時は、しっかり奥まで差し込んで取付けてください。

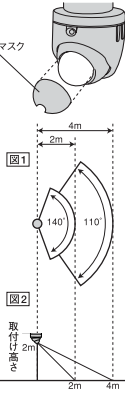
エリアマスクなしの場合

探知範囲
最長約6m×140°
(取付け高さ2mの場合)



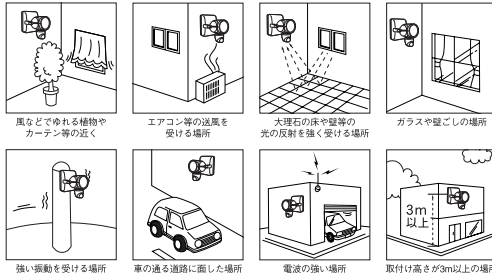
エリアマスク使用時

探知範囲
最長約4m×140°
(取付け高さ2mの場合)



5. 取付け場所に注意

センサーは、周囲の明るさや温度変化に探知するので、図のような場所に取付けると、誤動作や作動しないときがあります。



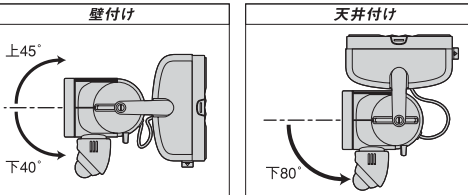
6. 電池の入れ方

- ロックスイッチをスライドさせて解除し、ブラケットを外します。
ロックスイッチ
ブラケット
- ゴムのフタを開けます。
- 単1のアルカリ電池を3本入れます。プラス・マイナスの向きを間違わないように注意する。
単1アルカリ電池
- ゴムのフタを閉め、ブラケットを取付けます。ロックスイッチがかかっているか確認します。
ロックスイッチ

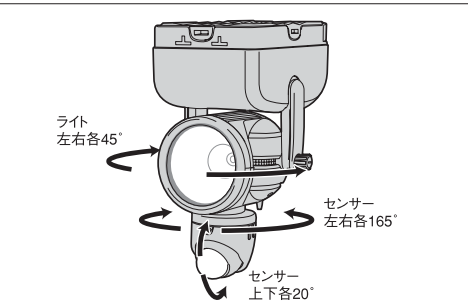
7. 首振り角度

当社独自の設計により、壁付け、天井付け、自由自在

- 注意** 首振り角度を調整した後は、しっかりと左右2個の角度調整ソジマを締めてください。



※壁付けでライトを45°以上、上向きにすると故障の原因になります。また、天井付けのライトを80°以上、下向きにすると故障の原因になります。ライトの上下角度は上記のイラストの範囲内にしてください。



8. ブラケットでの取付け方

- ロックスイッチをスライドさせて解除し、ブラケットを外します。
- 壁等にブラケットの穴に通し、印を付けます。
(アルミ板、薄鉄板の場合)
印に電気ドリル等でφ3.3mmの穴を開けます。
(木の場合)
印に電気ドリル等でφ3mmの穴を開けます。

付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
- (コンクリートの壁の場合)
振動電気ドリル等でφ6mmの穴を開け、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。

付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
- ゴムのフタを開け、ブラケットを取付けます。
ロックスイッチがかかっているか確認します。

天井付け時の注意

・取付ける天井面が薄板のところには、取付けしないでください。落下する恐れがあります。

[木の柱の通っている天井の場合]
下穴3mmを開けて、付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
※必ず、取付けネジを4本で取付けしてください。

[コンクリートの天井の場合]
下穴6mmを開けて、付属のプラスチック製プラグを差込み、金づち等で軽く叩き、壁と面を合わせます。
付属の取付けネジでブラケットを取付けます。
※必ず、取付けネジを4本で取付けしてください。

[アルミ板、鉄板の場合]
下穴3.3mmを開けて、付属の取付けネジでブラケットを取付けます。

9. クランプで挟む取付け方

- 8-1. 上向きの柱、パイプの場合**

① ブラケットの内側から図のようにL型ボルトを通します。
(左右どちらの穴でも構いません。)

② L型ボルトを柱、壁、パイプに挟んで、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。付属のネジキャップを取付けます。

③ ブラケットに本体を取付けます。
ロックスイッチがかかっているか確認します。
- 8-2. 横向きの柱、パイプの場合**

① ブラケットの内側から図のようにL型ボルトを通します。

② L型ボルトを柱、壁、パイプに挟んで、クランプ台の穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。付属のネジキャップを取付けます。

③ ブラケットに本体を取付けます。
ロックスイッチがかかっているか確認します。

市販のステンレスバンドでの取付け方

市販のステンレスバンド(幅10mm)を、ブラケットの左右の穴に通して取付けることもできます。

縦向きのパイプには取付けできますが、横向きのパイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるため取付けしないでください。

10. センサーの動作テスト

・時間切替スイッチを“5”にする
・点灯切替スイッチを“昼”にする

点灯し、約5秒後に消灯

センサー探知範囲に入り、すぐに消灯

約5秒後に消灯

注意 点灯・消灯しない時は、「13.故障かなと思ったら」を参照してください。

2. 点灯ツマミ(点灯させる周りの明るさ調節)

昼に調節

OFF 夜

昼の明るさに関係なく、いつでもセンサーの探知範囲に入ると点灯

センサーの探知範囲から人がいなくなると即時に消灯

人がいなくなると消灯

夜に調節

OFF 夜

昼の明るい時は消灯

夜、暗くなってからセンサーの探知範囲に入ると点灯

センサーの探知範囲から人がいなくなると即時に消灯

人がいなくなると消灯

※夜でも、他の照明の光で、周りが明るい時は、センサーは昼と認識する為、センサーは探知しません。点灯切替ツマミを“昼”に調節してください。

11. センサーをお好みのモードに調節

1. 時間ツマミ(点灯時間の調節)

5秒に調節

15秒 点滅 5秒 点滅

センサー探知 → 約5秒間点灯 → 消灯

※“5秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

15秒に調節

15秒 点滅 5秒 点滅

センサー探知 → 約15秒間点灯 → 消灯

※“15秒”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点灯時間が延長されます。

点滅(15秒)に調節

15秒 点滅 5秒 点滅

センサー探知 → 約15秒間点滅 → 消灯

※“点滅”で使用の場合でも、点灯中に再度探知した場合、点滅時間が延長されます。

12. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。

シンナー・ベンジン・磨き粉・アルカリ性洗剤・化学ぞうきんは変色や傷の原因となるため、お使いにならないでください。

本体の取付けネジやクランプは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。

一年に1~2回

13. 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
点灯しない 探知範囲内に人がいるのに点灯しない	電池が入っていない。	電池を入れる。
	スイッチがOFFになっている。	スイッチをONにする。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調節する。(センサーを探知させたい方向に向ける。)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲内に人がいても点灯しない	蒸気や雨などの水滴がついている。	本センサーは人の動きによる温度変化を検知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。
	手袋をしている。	
消灯しない	電池寿命	新しい単1アルカリ乾電池に交換する。
	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯切替スイッチを 昼 にする。または、他の照明器具の光が入らない場所に設置する。
量なのに点灯する	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
	点灯切替ツマミが 昼 になっている。	点灯切替ツマミを 夜 にする。
探知範囲に入らないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある(例)・他の照明器具・エアコンの吹出口・犬や猫などが動いている。・積などよめる物(看板、旗、植木等)・車の熱やヘッドライト・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する)
	時間切替ツマミが 5秒 になっている。	時間切替ツマミを 15秒 にする。
探知範囲に入っているのに消灯する	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
探知距離が短い	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向ける。

14. サイズ

壁付け

105mm 160mm 141mm 129mm

天井付け

105mm 133mm 176mm